



四小だより



連雀学園三鷹市立第四小学校



ホームページ 四小 <http://www.mitaka-schools.jp/yonsyo-es/index.html>
 夢支援ネットワーク <http://muiku.info>
 四小メールアドレス 04-no4@ms.mitaka.ed.jp
 四小教育相談室（直通） 0422-48-9102

12月号

令和5年度の学習発表会を終えて ～点滴穿石～

校長 佐藤 勇人

ついこの間まで暑い日が続いている印象がありましたが、あっという間に寒くなりました。「今年は秋がなかった」なんて言葉もよく耳にしました。

さて、令和5年も1か月を残すばかりとなりました。先日の学習発表会には、ご多用のところ、多くの皆様においでいただき、誠にありがとうございました。新型コロナウイルス感染症は5類感染症へ移行しましたが、インフルエンザによる学級閉鎖等が市内で相次いでおり、体育館での開催ということもあって、今年度も保護者の皆様には学年ごとの入替制とさせていただきます。準備や練習へのご協力に加え、参観へのご理解をいただきましたことにも、重ねてお礼申し上げます。ただ、今年度も、OYJの皆様によるライブ配信もあって、お子様以外の学年の様子をご自宅でゆっくりとご覧いただいたご家庭も多いのではないのでしょうか。運動会後のアンケートには、混雑が少なくなってよかった、進行がわかるので家でゆっくりできた、校庭からは見られないような画像もあって楽しめたという様々なご意見があったと聞いています。

学習発表会は、今年度3回目となりました。今年度も1・3・5年生の音楽発表と2・4・6年生の各教科等の発表とで構成して、リハーサルも含めて異学年の子どもたちが互いにすべての発表を見合う形式にしました。子どもたちには、児童鑑賞日に「一堂に会する」ことの意義 一伝える側と受け止める側の両方の立場を経験することを通して「自分で自分を伸ばし、みんなが楽しい生活を築く力」をつけてほしいと話しました。

学習発表会のような文化的行事は、「児童が学校生活を楽しく豊かなものにするため、互いに努力を認めながら協力して、美しいもの、よりよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他のよさを見つけ合う喜びを感じるとともに、自己の成長を振り返り、自己のよさを伸ばそうとする意欲をもつことができるようにする」ことをねらいとしています。四小では、日常的な生活指導を丁寧に行うとともに、一日一日の学習を大切にしながら、そのねらいを達成できるように、全校の教職員が取り組んできました。子どもたちもねらいを理解して全力で取り組むことができたのではないかと、そして、それをお伝えすることができたのではないかと思います。子どもたちの考えたテーマ「今まで学んだことを生かし、みんなの成長を伝えよう」にもそれが表れていたと思います。

今日、この原稿を書きながら、校内を回ったり授業観察をしたりしていましたが、大きな行事が終わってまた一つ成長した子どもたちが、一生懸命学習に取り組む様子や、きれいに整頓された靴箱の状態を見ることができました。一日一日の地道な取り組みで子どもたちに力を付け、そして、その成長をお伝えできるように、今後も全校で取り組んでいきます。



6年生の学習発表。英語の学習で調べた外国の理解や四小の歴史、四小80歳のお祝いを英語と日本語で発表しました。



整頓された靴箱。「す～びた」が、2年目でほぼ定着してきています。

令和5年もありがとうございました。

～学習発表会を終えて～

各学年の児童の学習発表会の感想です。

1年

- ・音がくリーダーで「青い空にえをかこう」のふりつけをかんがえることがたいへんでした。
- ・大きなこえでうたえました。うたで「えいやー」のところをジャンプしてできてたのしかったです。
- ・けんぱんハーモニカで「きらきらぼし」たいへんだったけれど、たのしかったです。

2年

- ・会場にいる人全員に、聞こえる声を出すことをがんばりました。はずかしがらずに、最後まで、全力を出し切れたことがうれしかったです。学年が上がるほどレベルアップしていくので、自分もレベルアップしていきたいです。

3年

- ・お腹から力を入れて歌うのを頑張りました。お家の人が笑顔になってくれたので、嬉しかったです。
- ・お客さんから大きな拍手をもらって嬉しかったです。お客さんも自分もにこにこなれました。
- ・学習発表会で学んだ「切り替え」や「チームワーク」は、みんなと学ぶために必要なもので、これからも生かしたいです。

4年

- ・心一つにして取り組みました。お父さんやお母さん、今まで関わってくれた人たちに成長と感謝を伝えることを意識して、学習発表会をやりました。
- ・はじめはすごくきんちょうしていたけど、どんどん楽しくなってきました。群読の「おまつり」が、みんなとやっているだけで力が入ってきて嬉しかったです。

5年

来年6年生になると思うと、なんだかもう少しやれたんじゃないかと少し後悔したけれど、精一杯支え合いながら演奏ができました。この学習発表会も運動会も、次のステップへ進んでいく大きな一歩になったと思います。みんなと頑張った一分一秒の経験があったから、最後にみんなと心一つにした演奏ができました。この経験を通して、私自身も成長できたと思えました。

6年

- ・外国語を取り入れた今回の発表は、これまでよりも難しかったが、その分やりがいや自分たちの成長を感じた。
- ・英語が分からないときはみんなで教え合い、互いにアドバイスをして自分たちで発表をつくっていった。
- ・自分で行動を起こす「自主性」、工夫する「オリジナリティ」、仲間との「協調性」を学ぶことができた。

～2年 生活科「町探検」～

2年生は生活科の学習で11月2日(木)、11月6日(月)の2日間にかけて「町探検」を行いました。SAさんたちのご協力の下で、全35か所の店舗や施設にご協力を頂きました。「三鷹の町のすてきなところを見つける」というねらいのもと、子どもたちはグループで探検計画を立てたり、三鷹の町のよさに関してどんな質問をしようか考えたりしました。「町のすてき」とは、地域の人と関わって心に残った出来事です。「三鷹の町のすてき」をもっと知りたいという意欲的な2年生の姿がとても微笑ましかったです。町の人々の願いを聞いて感じたことや、自分の好きな場所やおすすめの場所が増えたこと、知りたいことや気になったことが分かったことなど、一人一人の子どもたちが町探検から得られたものは様々です。

現在、子どもたちは、町探検で学んだ「三鷹の町のすてき」を伝えるための準備をしています。学習発表会では、劇を通して、より多くの人に楽しんでもらえるように分かりやすく伝えました。教室前の掲示板では、新聞づくりを通して、一人一人が伝えたい内容に応じてより詳しく伝えていきます。保護者会の折にぜひご覧ください。2年生の子どもたちには、これからも地域への愛着をもち、成長して行ってほしいと思います。(2年担任)

図工専科より

図画工作科では、様々な題材を扱いますが、どんな題材であってもその題材特有の主題・材料・道具を生かし、自分らしい表現を追求します。1学期は絵画と立体作品、2学期は木工を扱いました。子どもたちが、題材と向き合い、自分なりの表現を見つけ出す姿は、いつ見ても輝いています。6年生はポーズを取り、自分を象徴するような等身大の作品を描きました。好きやこだわりを形や色で上手に表現しました。5年生は木工で、段になっている構造を生かしながら、自分だけの世界を作り上げました。4年生は、個性あふれるかぶり物を、かぶる自分を想像しながら丁寧に作りました。3年生は、自分の好きなものを詰め込んだ、巨大なトランプをつくりました。どの作品も見ごたえのあるものとなりました。

来年度は展覧会の年となります。子どもたちが自分らしい表現を、100%発揮できるような授業をしていきたいです。

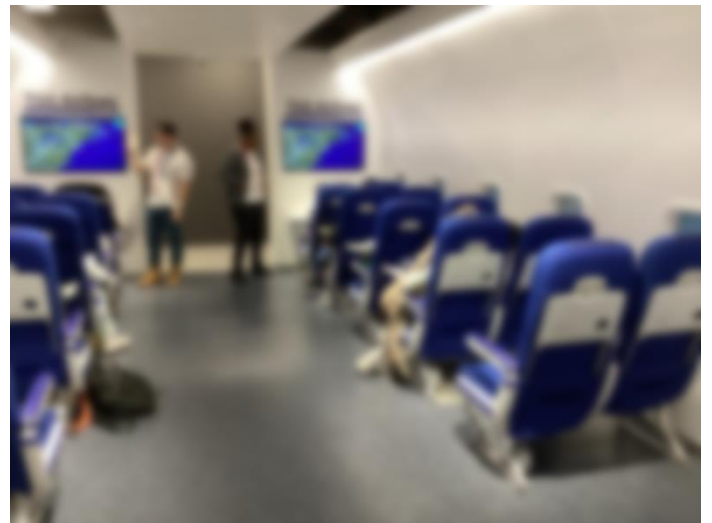
図画工作担当

11月のようす

ALTによる英語授業 体育館にいくつもの少人数グループをつくり、その一つひとつにALTの先生が1人ずつついてくださって、たくさん英語を話したり聞いたりすることができました。



5年英語体験活動 Tokyo Global Gateway 立川に新しくできた体験型英語学習施設に行きました。全て英語でカリキュラムをこなし、少し自信がついたでしょうか。



四小ウインドバンドの発表

日頃の練習の成果を三鷹市文化祭前に披露しました。



青少対むかし遊びの会

楽しい遊びの後には防災の話と非常食の試食もありました。

